

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川江の川水系国兼川測量設計地質調査業務委託（河川改修・単独）

事業名 または 工事名 一級河川江の川水系国兼川

調査目的及び調査対象 河川 橋梁・高架

ボーリング名	No. 1		調査位置	広島県庄原市山内町		北緯	34° 49' 52.9575"		
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	2019年 10月 15日 ~ 2019年 10月 17日		東経	132° 57' 17.4033"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	TP	221.92m	角			方位			
総削孔長	8.00m		地盤勾配			使用機種	YBM YSO-1WA		
			エンジン	ヤンマー-NFD10		ポンプ	GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室原位置試験	削孔月日						
												深度-N値図		N	100mm ごと	打撃	50				自沈	深	試	採		
												度	の	の	回	の	度	料	取	内	位	置				
												値 (m)	貫入	貫入	の	の	貫入	号	方	置	置	置				
												0	100	200	300	50	貫入	号	方	置	置	置				
1	220.02	1.90		礫混り砂		暗灰と暗褐灰	rd1			礫土。 GI=0.10mまで、草根等混じる。 礫は、φ2~30mm程度の亜角礫、亜円礫。 GI=0.70m付近までよく締まっている。 以深は、細粒分を多く含み、軟質となる。	10/16 2.40	1.15	1	1	3	300										
2	219.12	2.80		砂混り粘土		暗灰~暗褐	rc2			全体に細~粗砂を少量混入する。 軟質で、粘性強い。 有機物が僅かに混入する。	10/17 4.30	2.15	1	1	2	4	300									
3												3.00	貫入不能			50	0									
4												4.00	貫入不能			50	0									
5												5.00	貫入不能			50	0									
6												6.00	貫入不能			50	0									
7	214.37	7.55										7.00	貫入不能			50	0									
	213.32	8.00		礫岩		灰~赤灰				GI=6.4mまで細粒の砂岩で、採取コアはL=40~70cmの柱状となる。 GI=8.4mからは粗粒の砂岩で、採取コアはL=5~30cm程度の短柱状主体となりφ2cm程度までの亜角礫を少量含有する。 GI=8.5m付近に貝化石をやや多く含む。 GI=8.5m付近より、全逸水となる。		8.00	貫入不能			50	0									
												採取コアは礫状~L=20cmの短柱状となる礫は、φ10mm程度の亜角礫主体。														